

## 道南に初めてのサイクルルートが誕生！

～歴史と風景を巡る「かいどうどうなん海道サイクルルート」～

北海道サイクルルート連携協議会（事務局：北海道開発局・北海道）<sup>※1</sup>では、魅力的な北海道の観光資源を活かしたサイクルツーリズムを推進するため、北海道内においてサイクルツーリズムを提供する団体（ルート協議会<sup>※2</sup>）と連携・協働した取組を行っています。

令和6年2月21日に開催された「北海道サイクルルート連携協議会アドバイザー会議」において、「かいどうどうなん海道サイクルルート（約459km）」が、道南初のサイクルルートに追加されましたのでお知らせいたします。

### ■「どうなん海道サイクルルート」の概要

- ・津軽海峡・日本海・太平洋を8の字で結ぶルートに奥尻島を加えた全長約459kmのサイクルルートです。
- ・当ルートは、世界文化遺産の「北海道・北東北縄文遺跡群『垣ノ島遺跡、大船遺跡』」、日本遺産の歴史的建造物群を有する「いにしえ街道」などの【歴史】や大沼国定公園、活火山恵山、オクシリブルーの海などの【風景】を楽しみながら巡るサイクルルートです。

### ■「どうなん海道サイクルルート」のこれまでの経緯

- ・令和4年12月、自転車の利用環境向上の取組を推進するため、官民で構成する「道南サイクルツーリズム推進協議会」を設立
- ・ルート沿線の道の駅、海の駅、休憩施設等へのサイクルラック設置などの受入環境整備およびサイクルマップ・PR動画による地域の魅力などの情報発信を実施
- ・令和6年2月21日、北海道サイクルルート連携協議会アドバイザー会議において、道内10番目（道南初）のサイクルルートに追加

※1・2北海道サイクルルート連携協議会、ルート協議会については、下記ホームページをご参照ください。

[https://www.hkd.mlit.go.jp/ky/kn/dou\\_kei/splaat000000utuk.html](https://www.hkd.mlit.go.jp/ky/kn/dou_kei/splaat000000utuk.html)

【問合せ先】 国土交通省 北海道開発局 函館開発建設部

特定道路事業対策官 笠松 周悟（電話 0138-42-7614）

道路計画課 道路調査官 山中 昌也（電話 0138-42-7614）

函館開発建設部ホームページ <https://www.hkd.mlit.go.jp/hk/>





# かいどう どうなん 北海道サイクルルート ルート概要

【じゃがいも畑】



厚沢部町 ①

【オクシブルーの海】



奥尻町 ②

【滝瀬海岸(シラフラ)】



乙部町 ③

【歴史的建造物群を有する いにしえ街道】



江差町 ④

【北海道夜明けの塔】



上ノ国町 ⑤

【福山(松前)城と寺町】



松前町 ⑥

【松前神楽】



福島町 ⑦

【重内さくらロード】



知内町 ⑧

【サラキ岬】



木古内町 ⑨

【きじひき高原】



北斗市 ⑩

【大沼国定公園と駒ヶ岳】



七飯町 ⑪

【さわらフラワーロード】



森町 ⑫

【太平洋と駒ヶ岳】



鹿部町 ⑬

【北海道・北東北縄文遺跡群 垣ノ島遺跡】

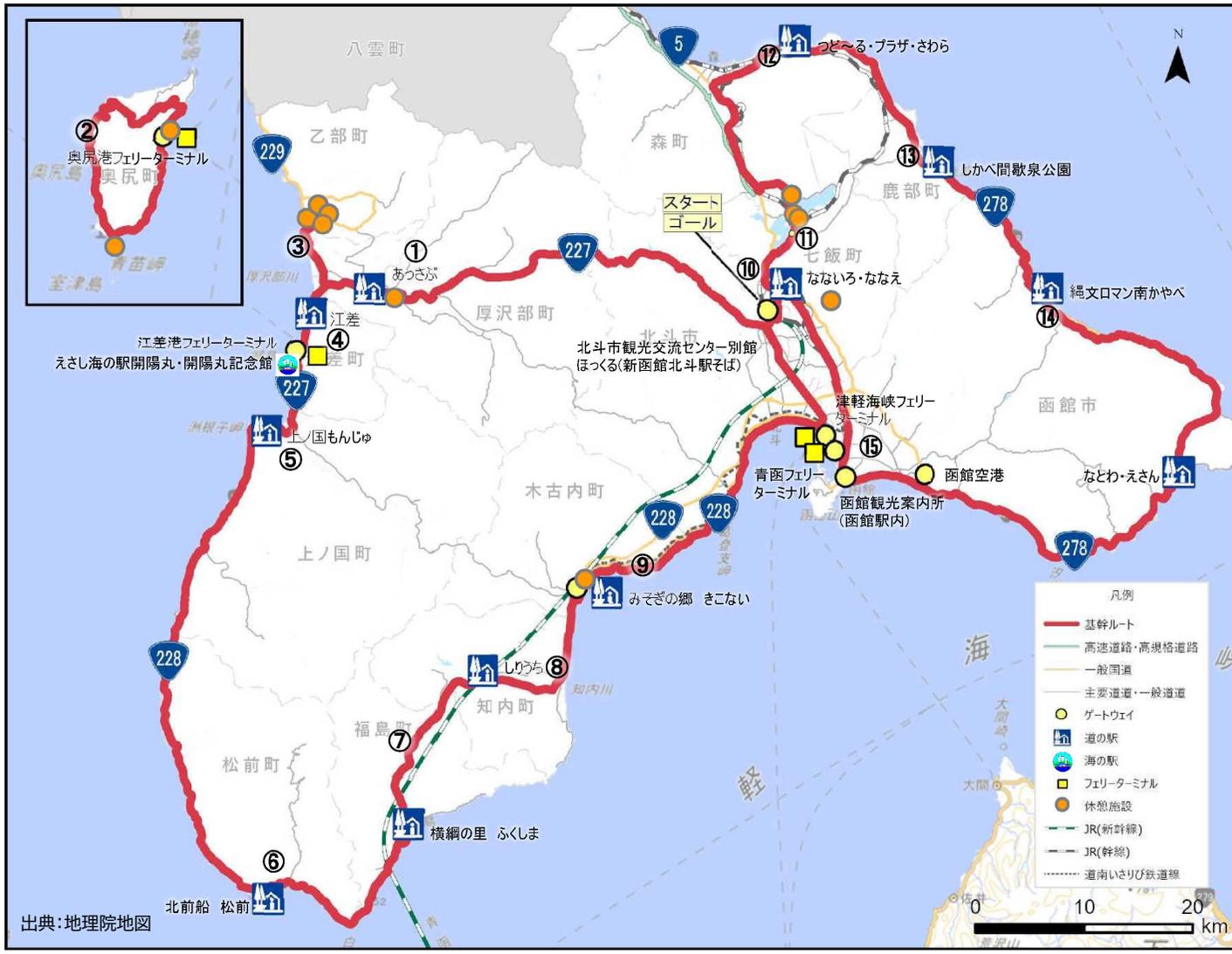


函館市 ⑭

【五稜郭と箱館戦争の遺構】



函館市 ⑮



# 道南サイクルツーリズム推進協議会の概要

## 《道南サイクルツーリズム推進協議会》

- 津軽海峡・日本海・太平洋を8の字で結ぶルートに奥尻島を加えた全長約459kmに及ぶ「どうなん海道サイクルルート」において、安全で快適な自転車走行環境の整備を推進するほか、サイクリストの受入環境の向上、情報発信及び地域独自の取組など、官民一体で自転車の利用環境向上の取組を推進するため、「道南サイクルツーリズム推進協会」を令和4年12月に設立しました。
- 令和6年2月21日、「北海道サイクルルート連携協議会アドバイザリー会議」において、道内10番目（道南初）のサイクルルートに追加されました。

## 設立目的

- 道南の歴史・文化を活かしたサイクルツーリズムの推進により、地域の観光資源の磨き上げ及び**広域的な周遊観光を促進**
- サイクリング観光の普及啓発や受入・走行環境の整備、情報発信を通じてサイクリストの誘客を促進し、観光振興を通じて地域経済を活性化することで、道南地域で**「世界最高水準のサイクルツーリズムの進展」**を目指す

## 道南サイクルツーリズム推進協議会の構成

### 【民間】

株式会社JTB北海道事業部函館オフィス、函館バス株式会社、道南いさりび鉄道株式会社、日本航空株式会社北海道支社函館支店、全日本空輸株式会社函館支店、ハートランドフェリー株式会社、津軽海峡フェリー株式会社、青函フェリー株式会社、北海道旅客鉄道株式会社函館支社、道南うみ街信用金庫、有限会社スピード商会、ホテルラジェントプラザ函館北斗(ABアコモ株式会社)、HAKODATE男爵倶楽部ホテル&リゾート、五稜郭タワー株式会社

### 【観光協会】

北斗市観光協会、(一社)七飯大沼国際観光コンベンション協会、木古内町観光協会、知内観光協会、福島町観光協会、(一社)北海道まつまえ観光物産協会、上ノ国町観光協会、江差観光コンベンション協会、厚沢部町観光協会、奥尻島観光協会、(一社)七飯町振興公社、(一社)木古内公益振興社

### 【大学】

国立大学法人北海道教育大学函館校

### 【団体】

(一社)北海道江差観光みらい機構、(一社)北海道開発技術センター、(一社)シーニックバイウェイ支援センター、(一社)どうなん自転車倶楽部、自然倶楽部、函館・大沼・噴火湾ルート、どうなん・追分シーニックバイウェイルート

### 【行政】

函館市、函館市戸井支所、函館市恵山支所、函館市榎法華支所、函館市南茅部支所、北斗市、七飯町、森町、鹿部町、木古内町、知内町、福島町、松前町、上ノ国町、江差町、厚沢部町、乙部町、奥尻町、北海道運輸局函館運輸支局、北海道渡島総合振興局、北海道檜山振興局、函館開発建設部

## 道南サイクルツーリズム推進協議会の取組

### 道南サイクルツーリズム推進協議会 設立総会(令和4年12月)



- 令和4年12月 道南サイクルツーリズム推進協議会設立
- 組織規約、体制、北海道サイクルルート連携協議会への応募に向けてなどを議題とし総会を実施

### 道南サイクルツーリズム推進協議会 臨時総会(令和5年8月)



- 令和5年8月 道南サイクルツーリズム推進協議会臨時総会
- 北海道サイクルルート連携協議会に提出する基幹ルート、応募様式などを議題とし臨時総会を実施

# 函館管内のサイクルツーリズムに関する動向

## ■受入環境

### サイクルラックの設置

受入環境整備のため、基幹ルート沿線の道の駅、海の駅、ゲートウェイ等にサイクルラックの設置を進めています。

(道の駅: 11ヶ所、海の駅: 1ヶ所、ゲートウェイ: 5ヶ所、休憩施設: 12ヶ所設置済 2023.12現在)



えさし海の駅(2018 どうなん・追分シーニックバイウェイルートで設置)



道の駅「つど〜る・プラザ・さわら」(2023 北海道サイクルオアシス事業で設置)

### サイクリスト受入環境向上

函館市内や北斗市内のホテルで、サイクリングを楽しむための宿泊プランの商品化や、サイクリストが宿泊しやすい空間提供を行い受入環境向上を図っています。



自転車の客室内への持ち込み(2023.4 函館市内ホテル)

### サイクリングガイドの育成

エリア内では、サイクリングツアーガイドの有資格者育成のため、日本サイクルツーリズム推進協会の講師によるサイクリングツアーガイド育成講座を開催し、ガイドの育成を行っています。2019年度から現在までに3回、18名がガイド認定を受けています。



サイクリングツアーガイドの有資格者育成講座(2020.8.8 江差町 協議会主催)

## ■情報発信

### サイクルマップ・PR動画の作成

自治体や協議会では、サイクリストを呼び込むために、サイクリングマップやPR動画を作成し、YouTube等で公開し、地域の魅力を発信しています。



サイクリングマップ(協議会)



サイクリングマップ(北斗市)



PR動画(七飯町・森町・鹿部町)

### プロモーションの実施

HPやSNS等、各種情報媒体による積極的な情報発信を行っています。



協議会のHP